

メッセナゴヤ2010 出展報告書 水のいのちものづくり中部フォーラム

本フォーラムは、10月27日～10月30日に開催された「メッセナゴヤ2010」にブース出展した。「メッセナゴヤ2010」は、業種や業態の枠を超え、各出展者の持ち寄る製品や技術を名古屋から国内外に広く情報発信し、人脈形成を図る「国際総合展示会」となっており、今年は「環境・エネルギー」をテーマとして、450の企業・団体が出品。また、COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）開催期間中での開催でもあり、世界から数多くの参加者が名古屋に来られ、本フォーラムをPRする絶好の機会でもあった。本フォーラムは、これまで中部が培ってきた水の技術や知恵の紹介や各チームの取り組み状況等を幅広く発信して、ビジネス機会の創出を図った。詳細については以下の通り。

1. メッセナゴヤ2010の概要

- (1) 名称：メッセナゴヤ2010
- (2) 会期：2010年10月27日(水)～10月30日(土) <4日間>
- (3) 開場時間：午前10時～午後5時
- (4) 会場：ポートメッセなごや（名古屋港金城ふ頭）
- (5) 主催：メッセナゴヤ実行委員会
(構成団体：愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所)
- (6) 出展規模：450社・団体
- (7) 来場者数：42,979人

2. 本フォーラムの参加メンバー

パッケージ検討チーム【豊田通商1名、日本工営1名】、情報収集チーム【大成建設1名】
情報発信チーム【博報堂3名】、国内展開支援チーム【中部建設協会1名、名古屋市2名】
研究開発・人材育成チーム【名古屋大学2名】、事務局等【中部経済連合会2名、水資源機構
1名、中部地方整備局2名】 合計16名

3. 出展目的

- (1) 本フォーラムの目的及び活動内容のPR。
- (2) ブース来訪者等との人脈づくり及び新たな会員の誘致活動。

4. 今回の出展に関して（成果など）

- ・来場者及びメッセナゴヤ出展者に本フォーラムの目的及び活動内容についてPRができた。
- ・チラシ（本フォーラム概要及び会員申込み書）を360枚配布し、新たな会員の誘致に寄与した。
- ・国内展開支援チームについて、鍋屋上野浄水場の緩速ろ過施設を紹介した。（名古屋の水[名水]を400缶配布。）
- ・研究開発・人材育成について、名古屋大学での研究プロジェクトの例示等を紹介した。

5. ブースの位置および写真

①ブースの位置(第1展示館内の1小間)



②ブース内のレイアウト



③ブース内の様子

企業関係者から一般の方まで幅広く本フォーラムについてPRできた。

